	教科		理科		① 知識•技能				
変称	学年		3年生	観点	観点 ② 思考・判断・表現				
学期	授業形態		一斉		 ③ 主体的に学習に取り組む態度				
学明 単元名 学師のかえ方 日福智・ 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一	教科月標		ユ						
生命 第1章 生物のいえ方 特性生殖の最近のい理解、 0.23 生命 第1章 離りである方面 細胞ののえ方 細胞が終め過程と急性のいるはい即解 0.23 生命 第2章 謝から子の時間の后わり方 選佐子の八上形程の店わり方の理解 0.23 生命 第2章 当佐のしてみ 細数分裂の過程と高にあるよい即解 0.23 生命 第3章 生物の共連性と多様性 頭があるためた 3.23 生物の大連性と多様性 頭があるためと過去の生物の方法がの原象、 0.23 生命 第3章 生物の大連性と多様性 頭があるためと過去の生物の方法がの原象、 0.23 生物の実質 1.24 地球 第1章 地球・月 大陽 地球・第1章 地球・月 大陽 地球・第1章 地球・月 大陽 地球・第1章 大陽の動き 神の馬世の理解の変化による進化の理解 0.23 地球 第1章 大陽の動き 神の馬世の場のの変化に対する理解 0.23 地球 第2章 宝座の面の動き 神の馬世の理解のの変化に対する理解 0.23 地球 第2章 宝座の面の動き 神の馬世の理解の変化に対する理解 0.23 地球 第2章 宝座の面の動き 地の馬世の理解の変化に対する理解 0.23 地球 第2章 宝座の面の動き 地の馬世の理解の変化に対する理解 0.23 地球 第2章 宝座の面の動き 地の馬世の理のの変わ変わりの理解 0.23 地球 第2章 宝を帯びた部のではよったの電 職員についての理解 0.23 地球 第2章 西域のかんのからからではそれがないをの 水海域中にあるイオンの理解 0.23 地球 第3章 酸セ・アルカリ性の強さ 地区は対するエルギーラの理解 0.23 地球 第3章 酸セ・アルカリ性の強さ 地区におけるエルギーラの理解 0.23 地球 3.3章 被セ・アルカリ性の強さ 地区におけるエルギーラの理解 0.23 地球 3.3章 なアルカルに組むともの条性 7.47と水酸化物イオンの理解 0.23 地球 3.3章 なアルカルに組むともの条件 7.47と水酸化物イオンの理解 0.23 地球 3.3章 なアルカルに組むともの条件 7.47と水酸化物イオンの理解 0.23 地球 3.3章 なアルカルに組むともの条件 7.47と水酸化物イオンの理解 0.23 地球 3.3章 なアルカルに組むとのの機の対象の理解 0.23 地球 3.3章 なアルカルに組むともの条件 7.47と東側に関連 0.23 エネルギー 第1章 力の合核 2.70合方を求めることができる。0.23 エネルギー 第1章 カの合核 2.70合方を求めることができる。0.23 エネルギー 第2章 地球 1.23 エネルギー 第2章 地球 1.23 エネルギー 第2章 地球 1.23 エネルギー 第2章 地球 1.23 エネルギー 9.29 地の高の動き 0.23 地球 3.3章 位性 2.23 エネルギー 9.24 地の同の動をの動き 0.23 地球 3.3章 位は 1.23 エネルギー 9.29 地の同の動をの動きのの対象の理解 0.23 エネルギー 9.29 地の同の動をの動き 0.23 地球 3.3章 位は 1.23 はが 1.2									
	一子别					(1)(2)(3)			
		生命 第1章		細胞の	ふえ方	細胞分裂の過程と染色体のふるまいの理解。	123		
生命 第3章 生物の共通性と多様性 頭肉の動ではたいる理解 (23 年の 第3章 生物の生活を (25 年の 第3章 生物の生活を (27 年の 第3章 生物の生活を (27 年の 第3章 生物の生活を (27 年の 第3章 生物のを (27 年の 第3章 生物のを (27 年の 12 年の									
			<u>E命 第2章 </u> +◆ 第0章						
		生 生 d	上の 男2草 土命 第2章 生物				123		
地球 第1章 地球・月・太陽 太陽の形や大きさなどの特徴の理解。 (123) 地球 第1章 大陽の動き 太陽系の構造に関する理解。 (123) 地球 第2章 工場の動き 西半高速や電回をきの変化に関する理解。 (123) 地球 第2章 工場の動き 西季の重産の移り変化の関する理解。 (123) 地球 第2章 工場の動き 西季の重産の移り変化の関する理解。 (123) 地球 第2章 工場の動き 西季の重産の移り変わりの理解。 (123) 地球 第2章 工場の動き 西季の事産の移り変わりの理解。 (123) 地球 第2章 工場のよりでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次		生命 生命	1 第3章 1 第3章						
地球 第1章 地球・月・太陽 太陽の形や大きさなどの特徴の理解。 (123) 地球 第1章 大陽の動き 太陽系の構造に関する理解。 (123) 地球 第2章 工場の動き 西半高速や電回をきの変化に関する理解。 (123) 地球 第2章 工場の動き 西季の重産の移り変化の関する理解。 (123) 地球 第2章 工場の動き 西季の重産の移り変化の関する理解。 (123) 地球 第2章 工場の動き 西季の重産の移り変わりの理解。 (123) 地球 第2章 工場の動き 西季の事産の移り変わりの理解。 (123) 地球 第2章 工場のよりでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次		生命	第3章	生物の移り	変わりと進化	生物の生活場所の変化による進化の理解。	123		
地球 第2章			第1章	地球•丿	目・太陽		123		
地球 第2章	4 334 +10	地政	X 第1章 *	太	場系	太陽系の構造に関する理解。	123		
世球 第2章	1字期		K 男1草 B 努り春				1023		
地球 第2章		地拉	第二年 第二年 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	星座の	アショウ 三の動き		(1)(2)(3)		
地球 第2章 星座の星の動き 四季の屋座の移り変わりの理解。		地球	第2章	太陽の	の動き		123		
物質 第1章		地球	第2章	星座の	星の動き	四季の星座の移り変わりの理解。	123		
物質 第2章 日常生活と電池			第1章	水溶液にすると	電流が流れる物質		123		
物質 第2章 日常生活と電池		物質	第1章						
物質 第2章 日常生活と電池			第1草 第7章	電気を帯び	こ粒子の止体	原子構造の説明。イオンのでき方の埋解。 イオンへのたりめすきの造いの理解。			
物質 第3章 日常生活と電池 電池の利用と電池の特徴に関する探究。 (1)2/3 物質 第3章 歯性やアルブリ性の海球の水素の大変の 次素イオンと水酸化物インの理解。 (1)2/3 物質 第3章 酸性・アルブリ性の強さ 酸、アルブリの通過の理解。 (1)2/3 物質 第3章 酸とアルガリ性の強さ 酸、アルガリの通過の理解。 (1)2/3 物質 第3章 酸とアルガリを過せたどきの変化 イオンモアルを用いた反応の理解。 (1)2/3 物質 第3章 水中の物体にはたらくカ 浮力と水圧の関連付けた理解。 (1)2/3 エネルギー 第1章 力の合成 2)カの合力を求めることができる。 (1)2/3 エネルギー 第1章 力の分解 作図によって力を分解することができる。 (1)2/3 エネルギー 第2章 運動の表し方 運動の要素(遠さと向き)の理解。 (1)2/3 エネルギー 第2章 対応上での物体の運動 加上での力を水体の関係の理解。 (1)2/3 エネルギー 第2章 物体間での力のおよぼし合い 作用・反作用の力の理解。 (1)2/3 エネルギー 第2章 物体間での力のおよぼし合い 作用・反作用の力の理解。 (1)2/3 エネルギー 第2章 地球 第2章 上での物体の運動 内の見え方の理解。 (1)2/3 エネルギー 第3章 上での力をおり変わりの理解。 (1)2/3 エネルギー 第3章 上での力を3を認め戻るの変化に関する理解。 (1)2/3 エネルギー 第3章 上での力を3を認め戻るの変化に関する理解。 (1)2/3 エネルギー 第3章 エネルギー 第3章 上での重要の重要を認め戻るの変化に関する理解。 (1)2/3 エネルギー 第3章 エネルギー 第3章 エネルギー の理解。 (1)2/3 エネルギー 第3章 エネルギー 第4章 エネルギーの種類 エネルギーの理解。 (1)2/3 エネルギー 第4章 東の移動 熱に対しての理解。 (1)2/3 エネルギー 第4章 東の移動 熱に対しての関連を表面ることの関係。 (1)2/3 エネルギー 第5章 エネルギーの有効活用 エネルギー 第5章 エネルギーの有効活用 エネルギー 第5章 エネルギーの有効活用 エネルギー 第5章 エネルギーの有効が制用が上の関係。 (1)2/3 環境 第1章 生態水における生物の健的関係 自然界で成り立つ関係を変化の理解。 (1)2/3 環境 第1章 生物の透動を通じた物質の障碍 世界で成り立つ関係を変化の理解。 (1)2/3 環境 第2章 大数の動き返した物質の障碍 大数のが関を力といての関連解。 (1)2/3 環境 第2章 大数の関度の限解。 (1)2/3 環境 第2章 大数の関度の限度 大数の関度の理解。 (1)2/3 環境 第4章 自然対域同の発度と歴史 科学技術の発度が対会に与える影響の理解。 (1)2/3 環境 第4章 自然が風の主語におよぼま影響 近端膜序を全するための視知のあるを検別。 (1)2/3 環境 第4章 自然が風の主語におよぼま 単数技術の発度が対さらようにめの視知のあるを検別。 (1)2/3 環境 第4章 自然が風の主語におよぼま 単数技術の発度が対なの対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の関係の理解。 (1)2/3 環境 第4章 自然が関度の解し 和学技術の発度が対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対			マーカム早 1 第2音			雷池におけるエネルギー変換の理解。			
物質 第3章			第2章				(1)2(3)		
物質 第3章			第3章	酸性やアルカリ性の	水溶液の水溶液の性質	酸やアルカリに共通する性質の理解。	123		
物質 第3章			第3章	L			123		
物質 第3章			第3章						
エネルギー 第1章 水中の物体にはたらく力 洋力と水上の関連付げた理解。			現る早 野の音						
エネルギー 第1章		エネル	* おり早 ボー 第1章	水中の物体	こはたらくカ	- 塩の主残する及心の珪解。 - 浮力と水圧の関連付けた理解。			
正ネルギー 第2章 漢動の表し方 運動の要素(速さと向き)の理解。 ①2/3 エネルギー 第2章 斜面上での物体の運動 力と運動の関係の理解。 ①2/3 エネルギー 第2章 物体間での力のおよぼし合い 作用・反作用の力の理解。 ①2/3 地球 第2章 宝座の星の動き 南中高度や昼間の長さの変化に関する理解。 ①2/3 地球 第2章 星座の星の動き 四季の星座の移り変わりの理解。 ①2/3 地球 第3章 金星の動きと見え方 月の見え方の理解。 ①2/3 北球 第3章 金星の動きと見え方 日の見え方の理解。 ①2/3 エネルギー 第3章 エネルギー 第3章 エネルギー カ学的エネルギーの理解。 ①2/3 エネルギー 第3章 エネルギー カ学的エネルギーの理解。 ①2/3 エネルギー 第3章 エネルギー 力学的エネルギー保存則の理解。 ①2/3 エネルギー 第4章 エネルギーの種類 エネルギーの理解。 ①2/3 エネルギー 第4章 エネルギーの種類 エネルギー変換と利用の理解。 ①2/3 エネルギー 第4章 エネルギーの種類 エネルギーの利助沖 エネルギーの利助沖 エネルギーの利助沖 本の利助の理解。 ①2/3 エネルギー 第5章 生活を支えるエネルギー さまざまな発電方法の長所・短所の理解。 ①2/3 エネルギー 第5章 エネルギーの有効活用 エネルギー 第5の種類 エネルギー 第5章 エネルギーの自動語 放射線の種類や利用方法の理解。 ①2/3 東京 第1章 生物の過酸の瞬体 自然界で成り立つ関係の理解。 ①2/3 環境 第1章 生物の過酸の呼くえ 土の中の微生物の生活に関する理解。 ①2/3 環境 第1章 生物の過酸の呼くえ 土の中の微生物の生活に関する理解。 ①2/3 環境 第2章 天然の物質と人工の物質 大然の発展の理解。 ①2/3 環境 第3章 科学技術の利展と歴史 科学技術の利展の科学的根拠のある検討。 ①2/3 環境 第3章 科学技術の利用とくらし 科学技術の利展の科学的根拠のある検討。 ①2/3 環境 第4章 身近な自然環境 自然が人間の生活におは可能響 災害による影響の理解。 ①2/3 環境 第4章 自然が人間の生活におは可能響 災害による影響の理解。 ①2/3 環境 第4章 自然が人間の生活におは可能響 災害による影響の検討。 ①2/3 環境 第4章 自然が人間の生活におは可能響 災害による影響の検討 ①2/3 環境 第4章 自然が人間の生活におは可能響 災害による影響の検討 ①2/3 環境 第4章 自然が人間の生活におはは可能す 災害による影響の検討 ②2/3 環境 第4章 自然が人間の生活におはは可能す 災害による影響の検討 ②2/3 環境 第4章 自然が人間の生活におははず能す 災害による影響の検討 ②2/3 環境 第4章 自然が人間の生活におははずば 数字技術の発展の科学の根拠のある考察。 ①2/3 環境 第4章 日間が入間の生活におははずば 数字技術の発展の科学の根拠のある考察。 ①2/3 環境 第4章 自然が人間の生活におははずば 数字技術の発展の科学の根拠のある考察。 ①2/3 環境 第4章 自然が人間の生活に対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対域の対		エネル	ギー 第1章			2力の合力を求めることができる。	123		
エネルギー 第2章 秋平面上での物体の運動 力と運動の関係の理解。 ①23 エネルギー 第2章 物体間での力のおよぼし合い 作用・反作用の力の理解。 ①23 世球 第2章 物体間での力のおよぼし合い 作用・反作用の力の理解。 ①23 地球 第2章 星座の星の動き 雨中高度や厚間の長さの変化に関する理解。 ①23 地球 第3章 星座の星の動き 四季の星座の移り変わりの理解。 ①23 世球 第3章 金星の動きと見え方 月の見え方の理解。 ①23 エネルギー 第3章 エネルギー 第3章 エネルギー 力学的エネルギーの理解。 ①23 エネルギー 第4章 エネルギーの種類 エネルギーの理解。 ①23 エネルギー 第4章 エネルギーの種類 エネルギー変換と利用の理解。 ①23 エネルギー 第4章 エネルギーの種類 エネルギーの利助効率を高めることの探求。 ①23 エネルギー 第5章 エネルギーの種類 エネルギーの利助効理解。 ①23 エネルギー 第5章 エネルギーの有効活用 エネルギー 第5章 エネルギーの有効活用 エネルギー 第5章 エネルギーの有効活用 エネルギー 第5の酵動 京本ルギー 東の移動 京本ルギー 第5章 生活を支えるエネルギー きまざまな発電方法の長所・短所の理解。 ①23 環境 第1章 生物の型動図 世界の関係の種類 1023 東京 第1章 生物の過量的関係 自然界で成り立つ関係の理解。 ①23 環境 第1章 生物の過量的関係 自然界で成り立つ関係と変化の理解。 ①23 環境 第1章 生物の過量的関係 自然界で成り立つ関係の理解。 ①23 環境 第1章 生物の過量的関係 日然界で成り立つ関係の理解。 ①23 環境 第1章 生物の過量の関係 日然界で成り立つ関係の理解。 ①23 環境 第1章 生物の過量の関係 大家の物質と人工の物質 大家の物質の理解。 ①23 環境 第2章 ブラスチック ブラスチックの有効な利用方法の探求。 ①23 環境 第3章 科学技術の利展と歴史 科学技術の発展の科学的根拠のある検討。 ①23 環境 第4章 自然が人間の生活におほす影響 近端の発展の科学的根拠のある検討。 ①23 環境 第4章 自然が人間の生活におよほす影響 第5章 科学技術の発展と課題 科学技術の問題点を解決するための探求。 ①23 環境 第4章 自然が人間の生活におまばま影響 近端 第4章 自然が人間の生活におまばま影響 近端 第4章 自然が人間の生活におまばま影響 近端 第5章 日本が人間の生活におまばま影響 近端 第5章 日本が人間の生活におまばまがままがよまればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば		エネル	ギー 第1章						
エネルギー 第2章 斜面上での物体の運動 斜面上での力と物体の関係の理解。		エネル	/ギー 第2章						
1		エイル	/十一 男乙草 /ギー 笋2音			月〜連動の関係の理解。 対策トでのカと物体の関係の理解。	1023		
地球 第2章 太陽の動き 南中高度や昼間の長さの変化に関する理解。									
 地球 第3章 月の動きと見え方	2学期		· 第2章	太陽の	の動き	南中高度や昼間の長さの変化に関する理解。	123		
 地球 第3章 金星の動きと見え方 金星の見え方の理解。			第2章				123		
エネルギー 第3章		地政	X 第3章 *	月の動き	と見え方	月の見え方の理解。	123		
エネルギー 第3章		エフル	水 おろ早	- 金星の動	さ <u>く</u> 見えり - 車	金星の見え方の埋解。 仕事の原理の理解。	1023		
エネルギー 第3章 位置エネルギーと運動エネルギー 力学的エネルギー保存則の理解。 ①②③ エネルギー 第4章 エネルギーの種類 エネルギー変換と利用の理解。 ①②③ エネルギー 第4章 エネルギーの変換と保存 エネルギーの利用効率を高めることの探求。 ①②③ エネルギー 第4章 熱の移動 熱伝導,対流,熱放射の理解。 ①②③ エネルギー 第5章 エネルギー利用上の問題 放射線の種類や利用方法の理解。 ①②③ エネルギー 第5章 エネルギーの有効活用 エネルギー資源の開発の探求。 ①②③ 第1章 生物どうしのつながり 自然界の生物に成り立つ関係の理解。 ①②③ 第1章 生物どうしのつながり 自然界で成り立つ関係と変化の理解。 ①②⑤ 第1章 生物の遺骸のゆくえ 土の中の微生物の生活に関する理解。 ①②⑤ 第1章 生物の活動を通じた物質の循環 で乗り、 ②⑤ 第1章 生物の活動を通じた物質の循環の理解。 ①②⑥ 第1章 生物の活動を通じた物質の循環の理解。 ①②⑥ 第1章 生物の活動を通じた物質の循環の理解。 ①②⑥ 第2章 天然の物質と人工の物質 天然の物質と人工の物質の理解。 ①②⑥ 第2章 アメの物質と人工の物質 天然の物質と人工の物質の理解。 ①②⑥ 第2章 ガラスチック ブラスチックの有効な利用方法の探求。 ①②⑥ 環境 第3章 科学技術の発展と歴史 科学技術の発展の科学的根拠のある検討。 ①②⑥ 環境 第4章 自然が人間の生活におよぼす影響 災害による影響の検討。 ①②⑥ 環境 第4章 自然が人間の生活におよぼす影響 災害による影響の検討。 ①②⑥ 第3章 科学技術の発展と歴史 科学技術の発展の科学的根拠のあるを表。 ①②⑥ 第4章 人間の活動と自然環境 自然環境を保全するための根拠のある考察。 ①②⑥ 第5章 科学技術の発展と課題 科学技術の問題点を解決するための探求。 ①②⑥ 第5章 科学技術の発展と課題 科学技術の問題点を解決するための探求。 ①②⑥ 第5章 科学技術の発展と課題 科学技術の問題点を解決するための探求。 ②⑥ ②⑥ 第5章 科学技術の問題点を解決するための探求。 ②②⑥ 第5章 科学技術の問題点を解決するために対すると述えばればればればればればればればればればればればればればればればればればればれ									
エネルギー 第4章 エネルギーの種類 エネルギー変換と利用の理解。							123		
エネルギー 第4章 熱の移動 熱伝導,対流,熱放射の理解。			ギー 第4章	エネルキ	一の種類	エネルギー変換と利用の理解。	123		
エネルギー 第5章 生活を支えるエネルギー さまざまな発電方法の長所・短所の理解。 123							123		
エネルギー 第5章 エネルギー利用上の問題 放射線の種類や利用方法の理解。									
エネルギー 第5章							123		
環境 第1章 生物どうしのつながり 自然界の生物に成り立つ関係の理解。 ①23 環境 第1章 生態系における生物の数量的関係 自然界で成り立つ関係と変化の理解。 ①23 環境 第1章 生物の遺骸のゆくえ 土の中の微生物の生活に関する理解。 ①23 環境 第2章 天然の物質と人工の物質 炭素の循環の理解。 ①23 環境 第2章 天然の物質と人工の物質 天然の物質と人工の物質の理解。 ①23 環境 第3章 科学技術の発展と歴史 科学技術の発展が社会に与える影響の理解。 ①23 環境 第3章 科学技術の利用とくらし 科学技術の発展の科学的根拠のある検討。 ①23 環境 第4章 身近な自然環境の調査 人間と自然環境とのかかわりの理解。 ①23 環境 第4章 自然が人間の生活におよぼす影響 災害による影響の検討。 ①23 環境 第4章 人間の活動と自然環境 自然環境を保全するための根拠のある考察。 ①23 環境 第5章 科学技術の発展と課題 科学技術の問題点を解決するための探求。 ①23									
環境 第1章 生物の遺骸のゆくえ 土の中の微生物の生活に関する理解。 ①②3 環境 第1章 生物の活動を通じた物質の循環 炭素の循環の理解。 ①②3 環境 第2章 天然の物質と人工の物質 天然の物質と人工の物質の理解。 ①②3 環境 第2章 ブラスチック ブラスチックの有効な利用方法の探求。 ①②3 環境 第3章 科学技術の発展と歴史 科学技術の発展が社会に与える影響の理解。 ①②3 環境 第3章 科学技術の利用とくらし 科学技術の発展の科学的根拠のある検討。 ①②3 環境 第4章 身近な自然環境の調査 人間と自然環境とのかかわりの理解。 ①②3 環境 第4章 自然が人間の生活におよぼす影響 災害による影響の検討。 ①②3 環境 第4章 人間の活動と自然環境 自然環境を保全するための根拠のある考察。 ①②3 環境 第5章 科学技術の発展と課題 科学技術の問題点を解決するための探求。 ①②3							123		
環境 第1章 生物の活動を通じた物質の循環 炭素の循環の理解。 ①23 環境 第2章 天然の物質と人工の物質 天然の物質と人工の物質の理解。 ①23 環境 第2章 ブラスチック プラスチックの有効な利用方法の探求。 ①23 環境 第3章 科学技術の発展と歴史 科学技術の発展が社会に与える影響の理解。 ①23 環境 第3章 科学技術の利用とくらし 科学技術の発展の科学的根拠のある検討。 ①23 環境 第4章 身近な自然環境の調査 人間と自然環境とのかかわりの理解。 ①23 環境 第4章 自然が人間の生活におよぼす影響 災害による影響の検討。 ①23 環境 第4章 人間の活動と自然環境 自然環境を保全するための根拠のある考察。 ①23 環境 第5章 科学技術の発展と課題 科学技術の問題点を解決するための探求。 ①23			第1章				123		
環境 第2章 天然の物質と人工の物質 天然の物質と人工の物質の理解。 ①23 環境 第2章 ブラスチック ブラスチックの有効な利用方法の探求。 ①23 環境 第3章 科学技術の発展と歴史 科学技術の発展が社会に与える影響の理解。 ①23 環境 第3章 科学技術の利用とくらし 科学技術の発展の科学的根拠のある検討。 ①23 環境 第4章 身近な自然環境の調査 人間と自然環境とのかかわりの理解。 ①23 第4章 自然が人間の生活におよぼす影響 災害による影響の検討。 ①23 環境 第4章 人間の活動と自然環境 自然環境を保全するための根拠のある考察。 ①23 環境 第5章 科学技術の発展と課題 科学技術の問題点を解決するための探求。 ①23			1 第1章						
環境 第2章 プラスチック プラスチックの有効な利用方法の探求。 ①23 環境 第3章 科学技術の発展と歴史 科学技術の発展が社会に与える影響の理解。 ①23 環境 第3章 科学技術の利用とくらし 科学技術の発展の科学的根拠のある検討。 ①23 環境 第4章 身近な自然環境の調査 人間と自然環境とのかかわりの理解。 ①23 環境 第4章 自然が人間の生活におよぼす影響 災害による影響の検討。 ①23 環境 第4章 人間の活動と自然環境 自然環境を保全するための根拠のある考察。 ①23 環境 第5章 科学技術の発展と課題 科学技術の問題点を解決するための探求。 ①23		块原 理性	。 お 早 音						
環境 第3章 科学技術の利用とくらし 科学技術の発展の科学的根拠のある検討。 ①23 環境 第4章 身近な自然環境の調査 人間と自然環境とのかかわりの理解。 ①23 環境 第4章 自然が人間の生活におよぼす影響 災害による影響の検討。 ①23 環境 第4章 人間の活動と自然環境 自然環境を保全するための根拠のある考察。 ①23 環境 第5章 科学技術の発展と課題 科学技術の問題点を解決するための探求。 ①23			第2章						
環境 第3章 科学技術の利用とくらし 科学技術の発展の科学的根拠のある検討。 ①23 環境 第4章 身近な自然環境の調査 人間と自然環境とのかかわりの理解。 ①23 環境 第4章 自然が人間の生活におよぼす影響 災害による影響の検討。 ①23 環境 第4章 人間の活動と自然環境 自然環境を保全するための根拠のある考察。 ①23 環境 第5章 科学技術の発展と課題 科学技術の問題点を解決するための探求。 ①23		環境	第3章	科学技術σ	発展と歴史		123		
環境 第4章 自然が人間の生活におよぼす影響 災害による影響の検討。 ①②③ 環境 第4章 人間の活動と自然環境 自然環境を保全するための根拠のある考察。 ①②③ 環境 第5章 科学技術の発展と課題 科学技術の問題点を解決するための探求。 ①②③		環境	第3章	科学技術の	利用とくらし		123		
環境 第4章 人間の活動と自然環境 自然環境を保全するための根拠のある考察。 ①②③ 環境 第5章 科学技術の発展と課題 科学技術の問題点を解決するための探求。 ①②③									
環境 第5章 科学技術の発展と課題 科学技術の問題点を解決するための探求。 123			7 男4草 8 第7章						
						L	1)23		
		環境				持続可能な社会を築くことの重要性の理解。	123		
							123		

◎評価の方法テスト問題を①②③の3観点に分けて評価を行う。また、③については提出物や授業への取り組み方を含むものとする。

◎学習のポイント(学習の進め方について)

①理科用語は正しく覚える。実験の内容や操作上の注意をおさえておく。②グラフや表などを応用して知りたいことを推測できるようにする。③授業内の課題や提出物に積極的に取り組む。

エネルギー第1章	水中の物体にはたらく力	
エネルギー 第1章	力の合成	
エネルギー 第1章	力の分解	1
エネルギー 第2章	運動の表し方	
エネルギー 第2章	水平面上での物体の運動	
エネルギー 第2章	斜面上での物体の運動	
エネルギー 第2章	物体間での力のおよぼし合い	
エネルギー 第3章	仕事	
エネルギー 第3章	エネルギー	
エネルギー 第3章	位置エネルギーと運動エネルギー	
エネルギー 第4章	エネルギーの種類	
エネルギー 第4章	エネルギーの変換と保存	エ
エネルギー 第4章	熱の移動	
エネルギー 第5章	生活を支えるエネルギー	₹
エネルギー 第5章	エネルギー利用上の問題]
エネルギー 第5章	エネルギーの有効活用	

浮力と水圧の関連付けた理解。	123
2カの合力を求めることができる。	123
F図によって力を分解することができる。 	123
運動の要素(速さと向き)の理解。	123
力と運動の関係の理解。	123
斜面上での力と物体の関係の理解。	123
作用・反作用の力の理解。	123
仕事の原理の理解。	123
力学的エネルギーの理解。	123
力学的エネルギー保存則の理解。	123

Tネルギー変換と利用の理解。
ネルギーの利用効率を高めることの探求。
熱伝導、対流、熱放射の理解。
きまざまな発電方法の長所・短所の理解。
放射線の種類や利用方法の理解。
13/33/100°27 (E/X/ 1 13/3/3/2022)
エネルギー資源の開発の探求。